

## 2. 流域及び河川の自然環境

### 2.1 流域の自然環境

初瀬川(指定区間)の源流から山地を流下する上流部は、大和川の中では比較的流れが急であり、スギ・ヒノキ植林や照葉樹林などからなる河畔林もみられる。水際にはツルヨシの植生がみられ、魚類も多く確認されている。

中流部の奈良盆地を流下する平地では、堰による湛水区間や平瀬が多く、水際にはセイタカヨシの植生がみられる。溪谷部となる亀の瀬では、早瀬と淵が連続し河畔林がみられる。緩やかな流れを生息環境とする魚類が多く、冬季にはカモ類などがみられる。

下流部は大阪市や柏原市を流れる都市域となっており、直線的な河道で平瀬の多い水域であるが、早瀬～淵の形態もみられ、河口では干潟が形成されている。汽水・海水性の魚類やカモメ類やカモ類などの水鳥が多い。

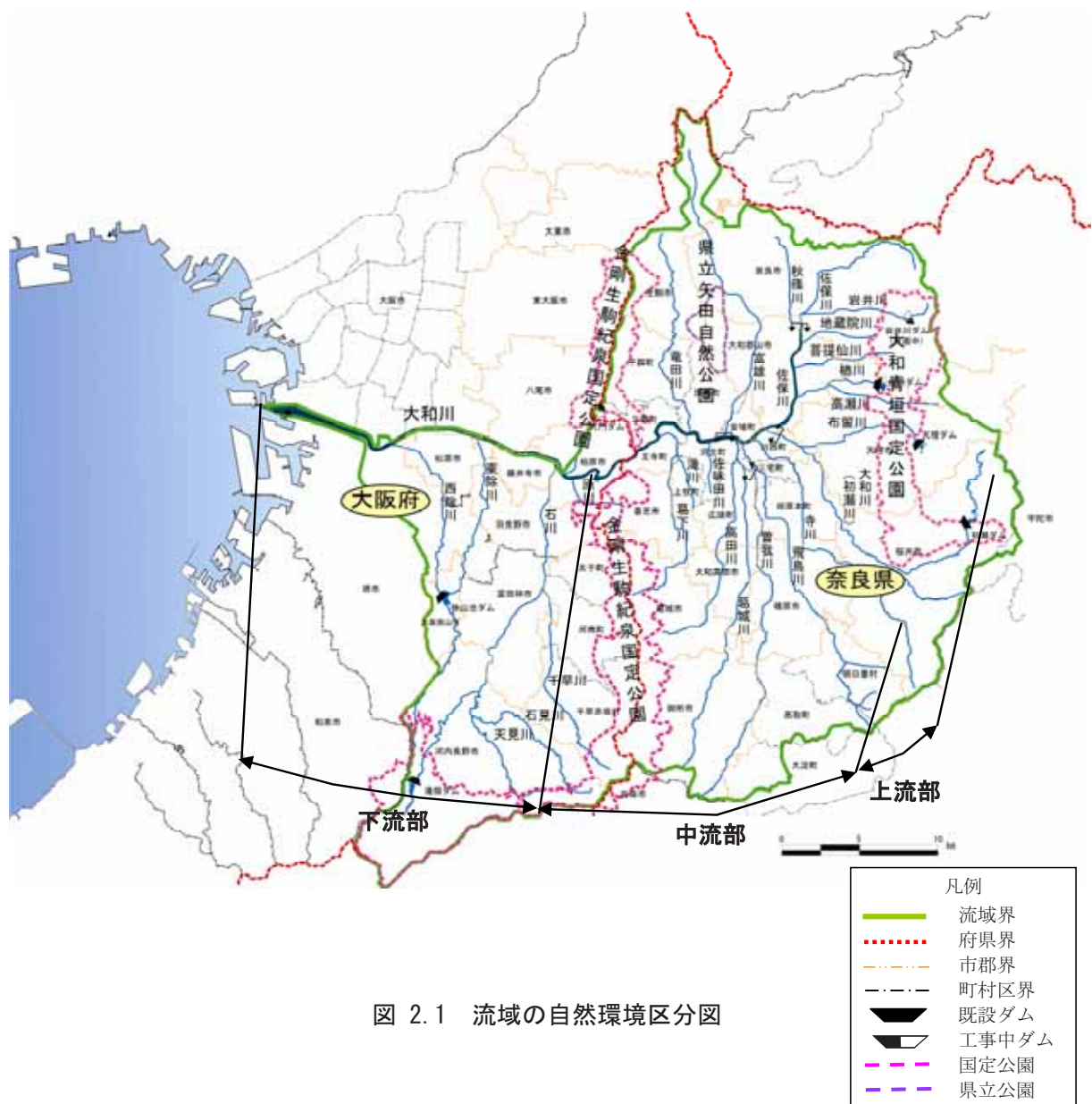


図 2.1 流域の自然環境区分図

## 2.2 河川の自然環境

大和川流域の自然環境は、感潮域、高水敷の状況などの河川の状況や生息する生態的特性等の縦断的特徴により、大きく下流部、中流部、上流部の3区分に分けられる。

表 2.1 大和川の縦断的特徴と自然環境

区分		河川の状況	生態的特性
下流部	河口域	感潮区間となっており、干潟が形成される。	汽水・海水性の魚種や底生生物が確認され、水鳥が多い。
	下流	高水敷は広くグランド・公園として利用されている。河道内は平瀬が主体となっている。	柏原堰堤までは、汽水・海水性の魚種やアユが確認されている。堰堤上流の湛水域では、止水域に生息する魚類が確認されている。
中流部	亀の瀬	渓谷区間となり、瀬と淵が明瞭である。	兩岸とも山付きで落葉高木林などの河畔林が見られることから、樹林性の鳥類が多い。瀬と淵の明瞭な区間であるが、生息種は大きく変わらない。
	中流	高水敷利用もあるが、規模は小さい。蛇行の多い区間となり、砂州や瀬と淵が見られる。	下流と類似した環境であるが、水際の植生は多く、繁殖場所や越冬地として利用する鳥類が確認されている。
	佐保川	堰が多くその湛水区間が断続的に続く。	小さな堰による湛水区間が連続する区間で、止水域に生息する魚類が確認されている。水際には植生が多く、抽水植物帯もある。
上流部		山地部を流下し、落差工が多い。	水際には植物が多く、河畔林も豊かである。



図 2.2 大和川の自然環境区分

---

(1) 上流部（佐野渡橋～源流）

大和川（初瀬川）源流から山間地を経て、奈良盆地に至る三輪山の麓までの上流部は、照葉樹林、スギ・ヒノキ植林などで構成される山地部となっている。カワムツ、アカザ、ドジョウ、ムギツクなどの魚類が生息・繁殖している。水際にはツルヨシなどの植生がみられ、サワガニ、カワニナ、ゲンジボタルなども確認されている。



写真 2.1 カワムツ



写真 2.2 アカザ



写真 2.3 サワガニ

(2) 中流部（芝山橋～佐野渡橋、佐保川）

中流部は、奈良盆地を流れる平地部と渓谷景観のみられる亀の瀬となっている。平地部の河川敷にはセイタカヨシなどの水際植生、亀の瀬ではムクノキ、エノキ、竹林などの河畔林がみられ、多様な生物の生息・繁殖環境となっている。魚類ではオイカワ、ギンブナ、カマツカ、メダカなどが生息・繁殖しており、砂州や水面ではシギ・チドリ類、カモ類も多くみられ、ハマシギの集団越冬地としても利用されている。



写真 2.4 オイカワ



写真 2.5 メダカ



写真 2.6 オナガガモ



写真 2.7 マガモ

### (3) 下流部（河口～芝山橋）

亀の瀬の下流から河口までの下流部は、河内平野を直線的な河道で大阪湾へと流下する平瀬の多い水域であるが、柏原地区をはじめ所々に早瀬～淵の形態もみられ、アユ、カマツカ、ギンブナなどの重要な生息・繁殖環境となっている。河川敷で見られるセイタカヨシ、イネ科の低茎群落などの草本類にエノキやヤナギ類などの中高木が混在した多様な植生帯は、ササゴイ、カワラヒワ、カワセミなどの休息場やギンブナ、モツゴなど稚魚の生息場所として重要な環境となっている。河口付近の感潮域はボラ、メナダなどの汽水・海水魚の生息環境となっており、広大な水面や干潮時に形成される干潟は、ホシハジロ、コアジサシ、ユリカモメ、ウミネコなどのカモ類やカモメ類の重要な休息場、採餌環境となっている。



写真 2.8 ギンブナ



写真 2.9 カマツカ



写真 2.10 アユ



写真 2.11 ボラ



写真 2.12 ユリカモメ



写真 2.13 カンムリカイツブリ

(4) 重要種

表 2.2 大和川に生息する重要種

	重要種
下流部 (河口)	<p>植生:ハマヒルガオ(大要注)、コイヌガラシ(準絶滅、大情不、近C)</p> <p>魚類:カマツカ(大要注)、カワアナゴ(大情不)、ドジョウ(大Ⅱ類)、ドンコ(大要注)、メダカ(危惧Ⅱ、大Ⅱ種、奈希少、水危惧)等 合計 14 種</p> <p>底生動物:ヒメモノアラガイ(大準絶)、ナガモノアラガイ(不足、大Ⅱ類)、オヨギカタビロアメンボ(危惧Ⅱ)</p> <p>鳥類:カンムリカイツブリ(大要注、奈希少、近準繁)、コアジサシ(保存、危惧Ⅱ、大Ⅱ類、奈危惧、近絶繁)、シロチドリ(大Ⅱ類、近絶繁)等 合計 25 種</p>
下流部	<p>植生:イトモ(大Ⅰ類、近A)、ヒキノカサ(危惧Ⅱ、大Ⅰ類、近A)、アマナ(大Ⅱ類)、コイヌガラシ(準絶滅、大情不、近C)</p> <p>魚類:カマツカ(大要注)、カワアナゴ(大情不)、ヌマムツ(大Ⅰ類、奈希少)、ギギ(大準絶、奈希少)等 合計 16 種</p> <p>底生動物:モノアラガイ(準絶滅、大要注)、ヒメモノアラガイ(大準絶)、ミヤマサナエ(大Ⅱ類)等 合計 9 種</p> <p>鳥類:マガモ(近準繁)、ウミネコ(近要繁)、イカルチドリ(大Ⅱ類、奈希少、近準繁)等 合計 21 種</p> <p>両生・爬虫・哺乳類:カヤネズミ(大要注、奈希少)、キツネ(大準絶)</p> <p>陸上昆虫:ジュウサンホシテントウ(大準絶)、ツシマヒラタシデムシ(大準絶)、ワスレナグモ(準絶滅)</p>
中流部 (亀の瀬)	<p>植生:ユキヤナギ(大Ⅱ類、近準絶)、コムラサキ(大Ⅱ類、近C)、フサナキリスゲ(大準絶、近準絶) コイヌガラシ(準絶滅、大情不、近C)</p> <p>魚類:カマツカ(大要注)、ギギ(大準絶、奈希少)、タモロコ(大要注)、メダカ(危惧Ⅱ、大Ⅱ種、奈希少、水危惧)等 合計 6 種</p> <p>底生動物:カワニナ(大要注)、ヒメモノアラガイ(大準絶)</p> <p>鳥類:イカルチドリ(大Ⅱ類、奈希少、近準繁)、イソシギ(大準絶、奈希少、近絶繁)、アオジ(奈危惧、近準繁)等 合計 9 種</p> <p>両生・爬虫・哺乳類:ヤマカガシ(奈希少)</p> <p>陸上昆虫:イトアメンボ(危惧Ⅱ)、ウラナミアカシジミ(大Ⅱ類)、セグロバツタ(大準絶)等 合計 5 種</p>
中流部	<p>植生:コイヌガラシ(準絶滅、大情不、近C)</p> <p>魚類:カマツカ(大要注)、ヌマムツ(大Ⅰ類、奈希少)、ギギ(大準絶、奈希少)、タモロコ(大要注)、ドジョウ(大Ⅱ類)、ドンコ(大要注)、メダカ(危惧Ⅱ、大Ⅱ種、奈希少、水危惧)等 合計 15 種</p> <p>底生動物:モノアラガイ(準絶滅、大要注)、ヒメモノアラガイ(大準絶)、ミヤマサナエ(大Ⅱ類)等 合計 10 種</p> <p>鳥類:イカルチドリ(大Ⅱ類、奈希少、近準繁)、イソシギ(大準絶、奈希少)、マガモ(近準繁)等 合計 21 種</p> <p>両生・爬虫・哺乳類:カヤネズミ(大要注、奈希少)</p> <p>陸上昆虫:ジュウサンホシテントウ(大準絶)、ツシマヒラタシデムシ(大準絶)、ワスレナグモ(準絶滅)</p>
中流部 (佐保川)	<p>植生:オオシロガヤツリ(大要注、近C)</p> <p>魚類:ウグイ(大要注)、カマツカ(大要注)、ヌマムツ(大Ⅰ類、奈希少)、ギギ(大準絶、奈希少)、タモロコ(大要注)、ドジョウ(大Ⅱ類)、メダカ(危惧Ⅱ、大Ⅱ種、奈希少、水危惧)、ドンコ(大要注)等 合計 10 種</p> <p>底生動物:ヒメモノアラガイ(大準絶)、キイロサナエ(大準絶)等 合計 4 種</p> <p>鳥類:カワセミ(大準絶、近絶繁)、セッカ(大準絶、奈希少)、オオヨシキリ(大準絶、近準繁)等 合計 16 種類</p> <p>両生・爬虫・哺乳類:キツネ(大準絶)</p> <p>陸上昆虫:ツシマヒラタシデムシ(大準絶)、ジュウサンホシテントウ(大準絶)、イトアメンボ(危惧Ⅱ)、ワスレナグモ(準絶滅)</p>
上流部	<p>魚類:ドジョウ(大Ⅱ類)、ムギツク(大Ⅱ類)、カマツカ(大要注)、アカザ(危惧Ⅱ、大Ⅱ類、奈危惧、水危急)、シマドジョウ(大要注)、ギギ(大準絶、奈希少)等 合計 12 種</p> <p>底生動物:ヒラタドロムシ(不足)、ナベブタムシ(大準絶)、カワニナ(大要注)</p> <p>鳥類:イソシギ(大準絶、奈希少、近絶繁)、カワセミ(大準絶、近準繁)、アオゲラ(大準絶、近準繁)、ルリビタキ(奈希少)、ヤマセミ(大Ⅱ類、奈希少、近準繁)等 合計 6 種</p> <p>両生・爬虫・哺乳類:スッポン(不足、大情不、奈情不)</p> <p>陸上昆虫:ゲンジボタル(大要注、奈郷土)</p>

表 2.3(1) 重要種のカテゴリー一覧

選定基準文献	略記	カテゴリー	定義
<b>文化財保護法</b> 『文化財保護法』の天然記念物指定種	特天	特別天然記念物	特別天然記念物
	国天	国指定天然記念物	国指定天然記念物
	県天	自治体指定天然記念物	自治体指定天然記念物
<b>種の保存法</b> 『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』の指定種	保存	国内希少野生動植物種	国内希少野生動植物種
<b>環境省 RDB・RL</b> 『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—』（①哺乳類 2002 年、②鳥類 2002 年、③両生類・爬虫類 2000 年、④汽水・淡水魚類 2003 年、⑤昆虫類 2006 年、⑥陸・淡水産貝類 2005 年、⑦クモ形類・甲殻類等 2006 年、⑧植物 I 2000 年、⑨植物 II 2000 年、環境省）、環境省報道発表資料「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」（2006 年、環境省）及び「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」（2007 年、環境省）	絶滅 EX	絶滅	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
	野絶滅 EW	野生絶滅	飼育・栽培下でのみ存続している種
	危惧 I	絶滅危惧 I 類	絶滅の危機に瀕している種
	危惧 IA	絶滅危惧 IA 類	ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	危惧 IB	絶滅危惧 IB 類	IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
	危惧 II	絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅	準絶滅危惧	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種。
	不足	情報不足	評価するだけの情報が不足している種
	地域 LP	絶滅のおそれのある地域個体群	地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
	<b>水産庁 RDB</b> 『日本の希少な野生水生生物に関するデータブック』（1998、水産庁編）	水危惧	絶滅危惧
水危急		危急	絶滅の危険が増大している種・亜種
水希少		希少	存続基盤が脆弱な種・亜種
水減傾		減少傾向	長期的に見て減少しつつあるもの
水希少		希少	存続基盤が脆弱な種・亜種
水希少		希少	存続基盤が脆弱な種・亜種
水減少		減少	明らかに減少しているもの
水地域		地域個体群	保護に留意すべき地域個体群
<b>大阪 RDB</b> 『大阪府における保護上重要な野生生物』（2000 年、大阪府）	大絶滅	絶滅	大阪府ですでに絶滅したと考えられる種
	大 I 類	絶滅危惧 I 類	絶滅の危機に瀕している種
	大 II 類	絶滅危惧 II 類	絶滅の危機が増大している種
	大準絶	準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種
	大情不	情報不足	評価するだけの情報が不足している種
	大要注	要注目	注目を要する種
<b>奈良 RDB</b> 『大切にしたい奈良県の野生動植物』（脊椎動物編 2006 年、植物・昆虫編 2008 年、奈良県）	奈絶滅	絶滅種	すでに絶滅したと考えられる種
	奈寸前	絶滅寸前種	絶滅の危機に瀕している種
	奈危惧	絶滅危惧種	絶滅の危険が増大している種
	奈希少	希少種	存続基盤が脆弱な種
	奈情不	情報不足種	評価するだけの情報が不足している種
	奈注目	注目種	上記の区分以外で奈良県において生物多様性の保全上注目される種
	奈郷土	郷土種	県民が大切にしている、もしくは大切にしたい種

表 2.3 (2) 重要種のカテゴリー一覧

選定基準文献	略記	カテゴリー	定義
近畿鳥類 RDB 『近畿地区 鳥類 レッドデータブック』(2000年、山岸編)	近危繁	危機的絶滅危惧種(繁殖個体群)	絶滅する可能性が極めて大きい。対象:繁殖個体群
	近危越	危機的絶滅危惧種(越冬個体群)	絶滅する可能性が極めて大きい。対象:越冬個体群
	近危通	危機的絶滅危惧種(通過個体群)	絶滅する可能性が極めて大きい。対象:通過個体群
	近絶繁	絶滅危惧種(繁殖個体群)	絶滅する可能性が大きい。対象:繁殖個体群
	近絶越	絶滅危惧種(越冬個体群)	絶滅する可能性が大きい。対象:越冬個体群
	近絶通	絶滅危惧種(通過個体群)	絶滅する可能性が大きい。対象:通過個体群
	近準繁	準絶滅危惧種(繁殖個体群)	絶滅する可能性がある。対象:繁殖個体群
	近準越	準絶滅危惧種(越冬個体群)	絶滅する可能性がある。対象:越冬個体群
	近準通	準絶滅危惧種(通過個体群)	絶滅する可能性がある。対象:通過個体群
	近要繁	要注目種(繁殖個体群)	今後の動向に注目する必要がある。対象:繁殖個体群
	近要越	要注目種(繁殖個体群)	今後の動向に注目する必要がある。対象:越冬個体群
	近要通	要注目種(繁殖個体群)	今後の動向に注目する必要がある。対象:通過個体群
近畿植物 RDB 『改訂・近畿地方の保護上重要な植物』(2001年、レッドデータブック研究会)	近絶滅	絶滅種	近畿地方では絶滅したと考えられる種
	近 A	絶滅危惧種 A	近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	近 B	絶滅危惧種 B	近い将来における絶滅の危険が高い種
	近 C	絶滅危惧種 C	絶滅の危険が高くなりつつある種
	近準	準絶滅危惧種	生育条件の変化によっては絶滅危惧種に移行する要素を持つ種
干潟 RDB 『WWF Japan Science Report』(1996、(財)世界自然保護基金日本委員会)	干絶滅	絶滅	野生状態ではどこにも見あたらなくなった種
	干寸前	絶滅寸前	人為の影響の如何に関わらず、個体数が異常に減少し、放置すればやがて絶滅すると推定される種
	干危険	危険	絶滅にむけて進行しているとみなされる種
	干希少	希少	特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種
	干不明	状況不明	最近の生息の状況が乏しい種

(5) 代表種

表 2.4 大和川に生息する主な生物

	代表的な生物 (生態系の指標となる種)
下流部(河口)	植物:セイトカヨシ群落 魚類:ギンブナ、ナマズ、ボラ、メナダ、モツゴ、オイカワ 底生動物:モクズガニ 鳥類:ユリカモメ、ホシハジロ、ヒドリガモ等合計7種
下流部	植生:セイトカヨシ群落、ムクノキ-エノキ群集 魚類:オイカワ、ギンブナ、ナマズ、ボラ、メナダ、モツゴ 底生動物:モクズガニ 鳥類:スズメ、ユリカモメ、ヒドリガモ等合計6種 両生・爬虫・哺乳類:イタチ属の一種、カヤネズミ、テン、アカネズミ
中流部(亀の瀬)	植生:セイトカヨシ群落、ムクノキ-エノキ群落 魚類:オイカワ、ギンブナ、ナマズ、モツゴ 底生動物:モクズガニ 鳥類:スズメ、カワラヒワ、ヒドリガモ等合計5種 両生・爬虫・哺乳類:イタチ属の一種、アカネズミ 陸上昆虫:カトリヤンマ
中流部	植生:セイトカヨシ群落、ムクノキ-エノキ群落 魚類:オイカワ、ギンブナ、ナマズ、モツゴ 底生動物:モクズガニ 鳥類:スズメ、カワラヒワ、マガモ等合計6種 両生・爬虫・哺乳類:イタチ属の一種、アカネズミ
中流部(佐保川)	植生:セイトカヨシ群落、ムクノキ-エノキ群落 魚類:オイカワ、ギンブナ、ナマズ、モツゴ 底生動物:モクズガニ 鳥類:スズメ、マガモ、カワラヒワ等合計6種 両生・爬虫・哺乳類:イタチ属の一種、アカネズミ
上流部	植生:ツルヨシ群落 魚類:カワムツ、アカザ、ムギツク 底生動物:サワガニ、カワニナ 鳥類:スズメ、カワラヒワ、セグロセキレイ、カワセミなど 陸上昆虫類:ゲンジボタル



## 2.3 特徴的な河川景観や文化財等

### (1) 特徴的な河川景観

大和川では下流部を中心に砂州が多く見られ、中流部の一部区間や亀の瀬区域を除き河床は砂礫で構成されている。

上流部は、源流から山間地を経て奈良盆地に至る三輪山の麓までの区間であり、渓谷や山地の景観と農地の景観が源流部付近においても混在していることが特徴的である。

中流部は、奈良盆地を北流し、佐保川と合流後、亀の瀬の渓谷に向かって西流している。その河道は、瀬と堰による湛水区間が交互に現れ、河床には水生植物も多く生えている。亀の瀬の狭窄部は両岸山付けで、渓谷景観を呈し、水際まで河畔林に覆われている。

下流部は、亀の瀬下流から河口までを直線的な河道で流下しており、比較的平瀬が多く、砂州が発達している。河川敷は、水際から草地、中高木林が混在した多様な環境であるとともに、高水敷が整備され、グラウンドや公園として利用されている。また、河口部の広大な水面や干潟は冬期にカモやカモメ類の休息場、採餌場となっており、河川景観にも寄与している。



図 2.3 特徴的な河川の景観

## (2) 文化財

大和川流域はわが国の歴史のふるさとであり、歴史にまつわる数多くの文化財が存在する。聖徳太子ゆかりの「法隆寺」や、東大寺の「奈良の大仏」など、流域関連市町村（大阪市を除く）における国指定の文化財は 188 の国宝と、550 の重要文化財が存在する。また、日本には、平成 19 年 7 月現在で、14 件の世界遺産があるが、そのうち「法隆寺地域の仏教建造物」（平成 5 年 12 月登録）や「古都奈良の文化財」（平成 10 年 12 月登録）の 2 件が存在する。

表 2.5 (1) 大和川流域の文化財

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
1	世界遺産	法隆寺地域の仏教建造物	平成05.12	奈良県生駒郡
2	世界遺産	古都奈良の文化財	平成10.12	奈良県
3	国宝	乾漆千手観音坐像	昭和27.11.22	藤井寺市 葛井寺
4	国宝	道明寺天満宮 木造十一面観音立像	昭和27.11.22	藤井寺市 道明寺天満宮
	国宝	" 銀装革帯一条玳瑁装牙	昭和28.03.31	藤井寺市 道明寺天満宮
	国宝	" 犀角柄刀子一口	昭和28.03.31	藤井寺市 道明寺天満宮
	国宝	" 伯牙弹琴鏡一面	昭和28.03.31	藤井寺市 道明寺天満宮
	国宝	" 青白磁円硯一面	昭和28.03.31	藤井寺市 道明寺天満宮
	国宝	" 玳瑁装牙櫛	昭和28.03.31	藤井寺市 道明寺天満宮
	国宝	" 牙笏	昭和28.03.31	藤井寺市 道明寺天満宮
5	国宝	誉田八幡宮 塵地螺鈿銅装神輿	昭和31.06.28	羽曳野市 誉田八幡宮
	国宝	" 金銅透彫鞍金具	昭和27.11.22	羽曳野市 誉田八幡宮
6	国宝	観心寺 金堂	昭和27.03.29	河内長野市 観心寺
	国宝	" 木造如意輪観音坐像	昭和26.06.09	河内長野市 観心寺
	国宝	" 縁起資財帳	昭和28.03.31	河内長野市 観心寺
7	国宝	金剛寺 延喜式神名帳	昭和27.02.22	河内長野市 金剛寺
	国宝	" 剣	昭和28.03.31	河内長野市 金剛寺
	国宝	" 延喜式第十二残巻、第十四、第十六	昭和27.02.22	河内長野市 金剛寺
8	国宝	蓮唐草蒔絵経箱	昭和31.06.28	奈良市 奈良国立博物館
	国宝	刺繍釈迦如来説法図	昭和27.11.22	奈良市 奈良国立博物館
	国宝	伝教大師筆尺牘	昭和26.06.09	奈良市 奈良国立博物館
	国宝	金剛般若経開題残巻	昭和27.03.29	奈良市 奈良国立博物館
	国宝	紙本着色辟邪絵	昭和60.06.06	奈良市 奈良国立博物館
	国宝	牛皮華鬘	昭和33.02.08	奈良市 奈良国立博物館
9	国宝	般若寺楼門	昭和28.03.31	奈良市 般若寺
10	国宝	唐鞍	昭和32.02.19	奈良市 手向山神社
11	国宝	東大寺 南大門	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 二月堂	平成17.12.27	奈良市 東大寺
	国宝	" 法華堂	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 鐘楼	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 金堂(大仏殿)	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
	国宝	" 開山堂	昭和28.03.31	奈良市 東大寺
	国宝	" 転害門	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
	国宝	" 本坊経庫	昭和28.03.31	奈良市 東大寺
	国宝	" 乾漆不空羼索観音立像	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
	国宝	" 乾漆四天王立像	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
	国宝	" 乾漆金剛力士立像	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
	国宝	" 塑造四天王立像	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
	国宝	" 銅造盧舎那仏坐像	昭和33.02.08	奈良市 東大寺
	国宝	" 塑造金剛神立像	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 木造良弁僧正坐像	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 木造俊乘上人坐像	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 木造金剛力士立像	昭和27.03.29	奈良市 東大寺
国宝	" 木造僧形八幡神坐像	昭和32.02.19	奈良市 東大寺	

出典) 文化庁HPより

表 2.5 (2) 大和川流域の文化財

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
11	国宝	" 銅造誕生釈迦仏立像	昭和27.11.22	奈良市 東大寺
	国宝	" 金銅八角燈籠	昭和31.06.28	奈良市 東大寺
	国宝	" 花鳥彩繪油色箱	昭和34.6.27	奈良市 東大寺
	国宝	" 葡萄唐草文染	昭和27.11.22	奈良市 東大寺
	国宝	" 梵鐘	昭和26.06.09	奈良市 東大寺
	国宝	" 金堂鎮壇具	昭和32.02.19	奈良市 東大寺
12	国宝	春日大社 本社(本殿)	昭和31.06.28	奈良市 春日大社
	国宝	" 籠手	昭和28.11.14	奈良市 春日大社
	国宝	" 赤糸威鎧	昭和26.06.09	奈良市 春日大社
	国宝	" 赤糸威鎧	昭和26.06.09	奈良市 春日大社
	国宝	" 黒韋威矢筈札胴丸	昭和27.11.22	奈良市 春日大社
	国宝	" 本宮御料古神宝類	昭和30.02.02	奈良市 春日大社
	国宝	" 若宮御料古神宝類	昭和30.02.02	奈良市 春日大社
	国宝	" 沃懸地獅子文毛抜形太刀 無銘	昭和31.06.28	奈良市 春日大社
	国宝	" 金地螺鈿毛抜形太刀	昭和26.06.09	奈良市 春日大社
	国宝	" 沃懸地酢漿文紋兵庫鎖太刀 無銘	昭和31.06.28	奈良市 春日大社
	国宝	" 沃懸地酢漿平文紋兵庫鎖太刀 無銘	昭和31.06.28	奈良市 春日大社
	国宝	" 金装花押散兵庫鎖太刀 無銘	昭和31.06.28	奈良市 春日大社
	国宝	" 菱作打刀 無銘	昭和31.06.28	奈良市 春日大社
	13	国宝	興福寺 北円堂	昭和27.03.29
国宝		" 三重塔	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 五重塔	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 東金堂	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 木造弥勒仏坐像	昭和26.06.09	奈良市 興福寺
国宝		" 木造維摩居士坐像	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 木造文殊菩薩坐像	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 木造金剛力士立像	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 木造法相六祖坐像	昭和28.03.31	奈良市 興福寺
国宝		" 木心乾漆四天王立像	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 木造十二神将立像	昭和28.02.14	奈良市 興福寺
国宝		" 板彫十二神将立像	昭和28.11.14	奈良市 興福寺
国宝		" 乾漆十大弟子立像	昭和26.06.09	奈良市 興福寺
国宝		" 乾漆八部衆立像	昭和26.06.09	奈良市 興福寺
国宝		" 木造空羂索観音坐像	昭和27.11.22	奈良市 興福寺
国宝		" 木造千手観音立像	昭和42.06.15	奈良市 興福寺
国宝		" 木造四天王立像	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 銅造仏頭	昭和42.06.15	奈良市 興福寺
国宝		" 金銅燈籠	昭和39.05.26	奈良市 興福寺
国宝		" 華原磬	昭和27.03.29	奈良市 興福寺
国宝		" 梵鐘	昭和27.11.22	奈良市 興福寺
国宝		" 日本靈異記上巻	昭和28.03.31	奈良市 興福寺
国宝		" 金銅鎮壇具	昭和33.02.08	奈良市 興福寺
14		国宝	新薬師寺 本堂	昭和27.11.22
	国宝	" 塑造十二神将立像	昭和28.03.31	奈良市 新薬師寺
15	国宝	十輪院本堂	昭和33.02.08	奈良市 十輪院
16	国宝	元興寺 極楽坊禅室	昭和28.03.31	奈良市 元興寺
	国宝	" 極楽坊本堂	昭和30.02.02	奈良市 元興寺
	国宝	" 極楽坊五重小塔	昭和27.03.29	奈良市 元興寺
17	国宝	薬師寺 東塔	昭和26.06.09	奈良市 薬師寺
	国宝	" 東院堂	昭和36.04.27	奈良市 薬師寺
	国宝	" 麻布著色吉祥天像	昭和26.06.09	奈良市 薬師寺
	国宝	" 絹本著色慈恩大師像	昭和27.11.22	奈良市 薬師寺
	国宝	" 銅造観音菩薩立像	昭和26.06.09	奈良市 薬師寺

出典) 文化庁HPより

表 2.5 (3) 大和川流域の文化財

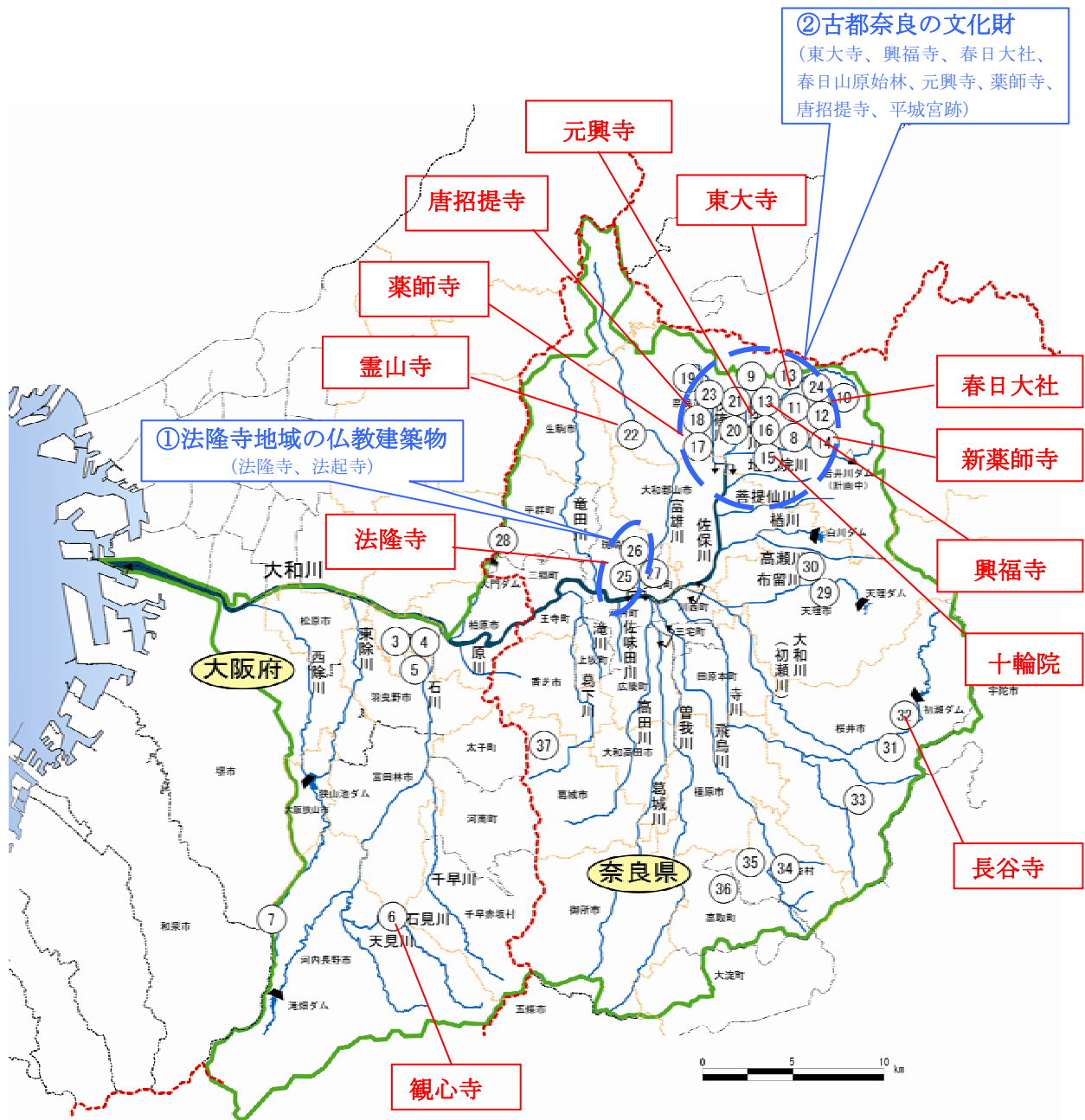
No.	種別	名称	指定年月日	所在地
17	国宝	〃 銅造薬師如来及両脇侍像	昭和26.06.09	奈良市 薬師寺
	国宝	〃 木造僧形八幡神坐像・木造神功皇后像・木造仲津姫命	昭和36.04.27	奈良市 薬師寺
	国宝	〃 仏足石	昭和27.11.22	奈良市 薬師寺
	国宝	〃 仏足跡歌碑	昭和27.11.22	奈良市 薬師寺
18	国宝	唐招提寺 金堂	昭和26.06.09	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 講堂	昭和27.11.22	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 鼓楼	昭和28.11.14	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 宝蔵	昭和34.06.27	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 経蔵	昭和28.11.14	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 乾漆盧舎那仏坐像	昭和26.06.09	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 木心乾漆千手観音立像	昭和27.03.29	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 乾漆鑑真和上坐像	昭和26.06.09	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 木心乾漆薬師如来立像	昭和27.03.29	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 木造四天王立像	昭和27.03.29	奈良市 唐招提寺
	国宝	〃 舍利容器	昭和36.04.27	奈良市 唐招提寺
	19	国宝	秋篠寺本堂	昭和28.11.14
20	国宝	法華寺 絹本着色阿弥陀三尊及童子像	昭和27.03.29	奈良市 法華寺
	国宝	〃 木造十一面観音立像	昭和26.06.09	奈良市 法華寺
21	国宝	海竜王寺五重小塔	昭和26.06.09	奈良市 海竜王寺
22	国宝	霊山寺本堂	昭和28.11.14	奈良市 霊山寺
23	国宝	西大寺 絹本着色十二天像	昭和27.02.22	奈良市 西大寺
	国宝	〃 金銅透彫舎利塔	昭和28.11.14	奈良市 西大寺
	国宝	〃 金銅透形舎利塔	昭和30.06.22	奈良市 西大寺
	国宝	〃 金銅宝塔	昭和30.06.22	奈良市 西大寺
	国宝	〃 舍利瓶 鉄宝塔	昭和28.11.14	奈良市 西大寺
	国宝	〃 金光明最勝王経	昭和28.03.31	奈良市 西大寺
	国宝	〃 赤地二重襷花文錦小袋	昭和30.06.22	奈良市 西大寺
	国宝	〃 水晶五輪塔(赤地錦小袋共)	昭和30.06.22	奈良市 西大寺
	国宝	〃 水晶五輪塔(織物縫合小裏共)	昭和30.06.22	奈良市 西大寺
	国宝	〃 金銅筒型容器	昭和30.06.22	奈良市 西大寺
24	国宝	正倉院正倉	平成09.05.19	奈良市 正倉院
25	国宝	法隆寺 金堂	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 中門	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 五重塔	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 東院夢殿	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 大講堂	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 鐘楼	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 経蔵	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 廻楼	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 東院鐘楼	昭和30.02.02	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 東院伝法堂	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 南大門	昭和28.03.31	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 西円堂	昭和30.02.02	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 聖霊堂	昭和27.11.22	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 食堂	昭和27.11.22	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 東大門	昭和27.11.22	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 三経院及び西室	昭和30.02.02	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 東室	昭和40.05.29	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 綱封蔵	昭和42.06.15	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 木造観音菩薩立像	昭和30.06.22	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 銅造薬師如来坐像	昭和27.03.29	斑鳩町 法隆寺
国宝	〃 銅造観音菩薩立像	昭和27.11.22	斑鳩町 法隆寺	
国宝	〃 木造薬師如来及両脇侍坐像	昭和27.11.22	斑鳩町 法隆寺	

出典) 文化庁HPより

表 2.5 (4) 大和川流域の文化財

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
25	国宝	〃 木造釈迦如来及両脇侍坐像	昭和28.03.31	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 塑造道詮律師坐像	昭和28.03.31	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 木造毘沙門天立像・木造吉祥天立像	昭和42.06.15	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 木造聖徳太子山背王・殖粟王・卒末呂王・恵慈法師坐像	昭和27.11.22	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 乾漆薬師如来坐像	昭和28.11.14	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 木造地藏菩薩立像	昭和28.02.14	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 乾漆行信僧都坐像	昭和27.03.29	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 銅造釈迦如来及両脇侍像	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 銅造阿弥陀如来及両脇侍像	昭和28.03.31	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 塑造塔本四面具	昭和31.06.28	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 玉虫厨子	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
	国宝	〃 四騎獅子狩文綿	昭和26.06.09	斑鳩町 法隆寺
国宝	〃 黒漆螺鈿卓	昭和34.06.27	斑鳩町 法隆寺	
26	国宝	法起寺三重塔	昭和26.06.09	斑鳩町 法起寺
27	国宝	木造菩薩半跏像 中尊寺	昭和26.06.09	斑鳩町 中宮寺
	国宝	天寿国繡帳残闕 〃	昭和27.03.29	斑鳩町 中宮寺
28	国宝	紙本着色信貴山縁起	昭和26.06.09	平群町 朝護孫子寺
29	国宝	石上神宮 拝殿	昭和29.03.20	天理市 石上神宮
	国宝	〃 摂社出雲建雄神社拝殿	昭和29.03.20	天理市 石上神宮
	国宝	〃 七支刀	昭和28.11.14	天理市 石上神宮
30	国宝	類聚名義抄	昭和27.11.22	天理市 天理大学
	国宝	播磨国風土記	昭和40.05.29	天理市 天理大学
	国宝	宋刊本欧陽文忠公集	昭和27.11.22	天理市 天理大学
	国宝	南海寄帰内法伝巻第一第二	昭和28.03.31	天理市 天理大学
	国宝	日本書紀神代巻	昭和37.06.21	天理市 天理大学
	国宝	宋版劉夢得文集	昭和30.06.22	天理市 天理大学
31	国宝	大和国粟原寺三重塔伏鉢	昭和28.03.31	桜井市 談山神社
32	国宝	長谷寺 本堂	平成16.12.10	桜井市 長谷寺
	国宝	〃 銅版法華説相図	昭和38.07.01	桜井市 長谷寺
33	国宝	木心乾漆十一面観音立像	昭和26.06.09	桜井市 聖林寺
34	国宝	木心乾漆義淵僧正坐像	昭和32.02.19	明日香村 岡寺
35	国宝	高松塚古墳壁画	昭和49.04.17	明日香村 高松塚古墳
36	国宝	紺綾地金銀泥絵両界曼荼羅図	昭和28.03.31	高取町 子島寺
37	国宝	當麻寺 東塔	昭和27.03.29	葛城市 當麻町 當麻寺
	国宝	〃 西塔	昭和27.03.29	葛城市 當麻町 當麻寺
	国宝	〃 本堂	昭和27.03.29	葛城市 當麻町 當麻寺
	国宝	〃 塑造弥勒仏坐像	昭和27.03.29	葛城市 當麻町 當麻寺
	国宝	〃 梵鐘	昭和31.06.28	葛城市 當麻町 當麻寺
	国宝	〃 綴織当麻曼荼羅図	昭和36.04.27	葛城市 當麻町 當麻寺
	国宝	〃 当麻曼荼羅厨子	昭和36.04.27	葛城市 當麻町 當麻寺

出典) 文化庁HPより



②古都奈良の文化財  
 (東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡)

①法隆寺地域の仏教建築物  
 (法隆寺、法起寺)

種別	数
世界遺産	2
国宝	188
重要文化財	550

図 2.4 世界遺産・国宝

⑥ 観心寺

観心寺は奈良時代に役小角が開き、827年に弘法大師の弟子、実恵が創立した。国宝の金堂は細部に禅宗様をとり入れた折衷様の代表として有名である。この他にも楠公建掛塔などの重要文化財が多数存在する。



出典) 河内長野市役所 HP

⑪ 東大寺

東大寺は聖武天皇の発願によって創建された寺である。世界最大の木造建築物として今もその偉容を誇っている。また寺内は貴重な文化財を豊富に保存している。



⑫ 春日大社

春日大社は710年に藤原不比等が平城遷都の際、藤原氏の氏神を祀ったのが起こりとされている。平安後期に現在のような規模を整えた。全国各地に御分社がある。



出典) 奈良市役所 HP

⑬ 興福寺

興福寺は、710年に藤原不比等が飛鳥から平城京へ前身の厩坂寺を移転したもので、藤原氏の氏寺として、藤原一族の隆盛とともに寺勢を拡大した。1180年、平家に焼き打ちされてほとんどの堂が焼失するが、すぐに再建された。



出典) 奈良市役所 HP

⑭ 新薬師寺

新薬師寺は、かつては七堂伽藍が整っていたが、現在は本堂だけが残っている。本尊木造薬師如来坐像とそれを囲む等身大の塑造十二神将立像が有名。



出典) 奈良市役所 HP

⑮ 十輪院

十輪院は“かえる股”で有名な国宝の本堂を持ち、地藏菩薩を本尊に、釈迦如来、弥勒菩薩を配置し、線刻の諸天、諸王を周りに配した石佛龕が有名である。



出典) 奈良市役所 HP

①⑥元興寺

元興寺は、平城遷都に伴い今の地に移転され現在の名に改められた。前身は蘇我馬子によって開かれた法興寺（飛鳥寺）である。南都七大寺の一つとして威勢を振っていたが、平安時代半に衰退し、現在では僧坊の一角が唯一現存する。



出典) 奈良市役所 HP

①⑧唐招提寺

唐招提寺は、天皇の招きに応じて来朝した唐の高僧・鑑真和上私寺であり 759 年に創建された。金堂には“天平の甕(いらか)”と称される鴟尾(しび)が載り、宝蔵などが並ぶ境内は創建当時の姿をよくとどめている。



出典) 奈良市役所 HP

②⑤法隆寺

法隆寺は、今から約 1300 年前に聖徳太子によって建立されたものといわれ、世界最古の木造建築物が建ち並ぶ。国宝の建築物だけでも 18 棟もあり、この他にも重要文化財の指定を受けているものが多数存在する。



②⑦薬師寺

薬師寺は、平城遷都に伴い 718 年に現在地に移された。金堂、講堂などを中心に東塔(とうとう)・西塔(さいとう)を配する構成は独特のもので、薬師寺式伽藍配置と呼ばれている。白鳳伽藍の復興を目指して、再建が進められている。



出典) 奈良市役所 HP

②②靈山寺

靈山寺は、736 年、聖武天皇の勅願により婆羅門僧正(菩提僊那)と行基が開いたといわれる真言宗の寺である。広い境内には鎌倉時代の本堂(国宝)、三重塔(重文)、室町時代の鐘楼(重文)などの古建築が建ち並ぶ。



出典) 奈良市役所 HP

③②長谷寺

長谷寺は仁王門から本堂へ続く登廊が印象的である。現在の本堂は、西暦 1650 年に再建されたものである。真言宗豊山派の総本山として、また西国三十三観音霊場第八番札所として多くの人々の信仰をあつめている。



出典) 桜井市役所 HP



### (3) 史跡・天然記念物

大和川流域における主な史跡としては、高松塚古墳、平城京跡などがあげられ、縄文・弥生時代から人々が文化を形成していたことが分かる。また、石舞台地区・高松塚周辺地区・祝戸地区・甘檜丘地区・キトラ古墳周辺地区の5地区から構成される国営飛鳥歴史公園がある。また、春日山原始林などの特別天然記念物も存在する。流域関連市町村(大阪市を除く)における国指定の史跡・天然記念物は1の特別天然記念物と、4の天然記念物、10の特別史跡、10の名勝、138の史跡が存在する。

表 2.6 (1) 大和川流域の史跡・天然記念物

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
1	史跡	いたすけ古墳	昭和31.05.15	堺市百舌鳥本町三丁
2	史跡	一須賀古墳群	平成06.10.07	南河内郡太子町・河南町
3	史跡	観音塚古墳	昭和56.04.22	羽曳野市飛鳥
4	史跡	観心寺境内	昭和09.03.13	河内長野市寺元
5	史跡	丸保山古墳	昭和47.07.25	堺市北丸保園
6	史跡	岩屋	昭和23.01.14	南河内郡太子町
7	史跡	金剛寺境内	昭和09.03.13	河内長野市天野町
8	史跡	金山古墳	平成03.02.15	南河内郡河南町
9	史跡	古市古墳群 古室山古墳	平成13.01.29	藤井寺市古室
10	史跡	古市古墳群 赤面山古墳	平成13.01.29	藤井寺市古室
11	史跡	古市古墳群 大鳥塚古墳	平成13.01.29	藤井寺市古室
12	史跡	古市古墳群 助太山古墳	平成13.01.29	藤井寺市道明寺
13	史跡	古市古墳群 鍋塚古墳	平成13.01.29	藤井寺市沢田
14	史跡	古市古墳群 城山古墳	平成13.01.29	藤井寺市津堂
15	史跡	古市古墳群 峯ヶ塚古墳	平成13.01.29	羽曳野市軽里
16	史跡	古市古墳群 墓山古墳	平成13.01.29	羽曳野市白鳥
17	史跡	古市古墳群 野中古墳	平成13.01.29	藤井寺市野中
18	史跡	古市古墳群 応神天皇陵古墳外濠外提	平成13.01.29	羽曳野市誉田
19	史跡	古市古墳群 鉢塚古墳	平成13.01.29	藤井寺市藤井寺
20	史跡	古市古墳群 はざみ山古墳	平成13.01.29	藤井寺市野中
21	史跡	古市古墳群 青山古墳	平成13.01.29	藤井寺市青山
22	史跡	古市古墳群 蕃所山古墳	平成13.01.29	藤井寺市藤ヶ丘
23	史跡	高井田横穴	大正11.03.08	柏原市高井田
24	史跡	国府遺跡	昭和49.06.25	藤井寺市惣社
25	史跡	黒姫山古墳	昭和32.10.24	堺市
26	史跡	鹿谷寺跡	昭和23.01.14	南河内郡太子町
27	史跡	収塚古墳	昭和33.05.14	堺市百舌鳥夕雲町
28	史跡	松岳山古墳	大正11.03.08	柏原市国分市場
29	史跡	新堂廃寺跡 附オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳	平成14.12.19	大阪府富田林市
30	史跡	新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡 お亀石古墳	平成14.12.19	富田林市緑ヶ丘町大字中野
31	史跡	赤阪城跡	昭和09.03.13	南河内郡千早赤阪村
32	史跡	千早城跡	昭和09.03.13	南河内郡千早赤阪村
33	史跡	長塚古墳	昭和33.05.14	堺市百舌鳥夕雲町
34	史跡	通法寺跡	昭和32.07.01	羽曳野市通法寺・御廟谷
35	史跡	塚廻古墳	昭和33.05.14	堺市百舌鳥赤畑町
36	史跡	田辺廃寺跡	昭和50.07.19	柏原市田辺
37	史跡	上赤阪城跡	昭和09.03.13	南河内郡千早赤阪村
38	史跡	二子塚古墳	昭和31.11.28	南河内郡太子町
39	史跡	乳岡古墳	昭和49.01.23	堺市石津町
40	史跡	文珠塚古墳	昭和46.04.23	堺市上野芝・向ヶ丘町
41	史跡	野中寺旧伽藍跡	昭和19.11.07	羽曳野市野々上
42	史跡	誉田白鳥埴輪製作遺跡	昭和48.06.02	羽曳野市白鳥
43	名勝	龍泉寺庭園	昭和56.05.11	富田林市龍泉
44	特別史跡	キトラ古墳	平成12.07.31	高市郡明日香村

出典) 文化庁HPより

表 2.6 (2) 大和川流域の史跡・天然記念物

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
45	史跡	ナガレ山古墳	昭和51.12.27	北葛城郡河合町
46	史跡	マルコ山古墳	昭和57.01.16	高市郡明日香村
47	史跡	メスリ山古墳	昭和55.03.14	桜井市高田・上之宮
48	天然記念物	ルーミスジミ生息地	昭和07.03.25	奈良市春日野町
49	史跡	粟原寺跡	昭和02.04.08	桜井市粟原
50	史跡	安倍寺跡	昭和45.03.11	桜井市阿部
51	名勝	依水園	昭和50.12.10	奈良市水門町
52	史跡	烏土塚古墳	昭和46.07.30	生駒郡平群町
53	史跡	塩塚古墳	昭和50.06.27	奈良市歌姫町・佐紀町
54	史跡	岡寺跡	平成17.08.29	高市郡明日香村
55	史跡	屋敷山古墳	昭和47.03.25	北葛城郡新庄町
56	史跡	乙女山古墳	昭和31.11.07	北葛城郡河合町・広陵町
57	史跡	花山塚古墳	昭和02.04.08	桜井市粟原
58	史跡	額田部窯跡	昭和04.04.02	大和郡山市額田部北町
59	史跡	茅原大墓古墳	昭和57.12.18	桜井市茅原
60	史跡	丸山古墳	昭和44.05.23	橿原市五条野町・大軽町
61	史跡	岩屋山古墳	昭和43.05.11	高市郡明日香村
62	史跡	吉備池廃寺跡	平成14.03.19	桜井市大字吉備
63	史跡	橘寺境内	昭和41.04.21	高市郡明日香村
64	史跡	宮山古墳	大正10.03.03	御所市室
65	名勝	旧大乘院庭園	昭和33.05.15	奈良市高畑町
66	史跡	巨勢山古墳群	平成14.12.19	御所市大字室・城山台・西寺田など
67	史跡	巨勢寺塔跡	昭和2.04.08	御所市古瀬
68	史跡	興福寺旧境内	昭和42.05.10	奈良市高畑町・登大路町
69	史跡	金剛山	昭和9.03.13	御所市高天
70	史跡	櫛山古墳	昭和32.06.19	天理市柳本町
71	史跡	牽牛子塚古墳	大正12.03.07	高市郡明日香村
72	史跡	鶯塚古墳	昭和11.09.03	奈良市春日野町
73	史跡	元興寺極楽坊境内	昭和40.02.22	奈良市中院町・中新屋町など
74	史跡	元興寺小塔院跡	昭和40.06.02	奈良市西新屋町
75	史跡	元興寺塔跡	昭和07.04.25	奈良市芝新屋町
76	史跡	行基墓	大正10.03.03	生駒市有里町
77	史跡	高宮廃寺跡	昭和02.04.08	御所市鴨神
78	史跡	高取城跡	昭和28.03.31	高市郡高取町
79	特別史跡	高松塚古墳	昭和47.06.17	高市郡明日香村
80	史跡	黒塚古墳	平成13.01.29	天理市柳本町
81	史跡	佐味田宝塚古墳	昭和62.05.12	北葛城郡河合町
82	史跡	桜井茶臼山古墳	昭和48.03.27	桜井市外山
83	史跡	三井	昭和19.06.26	生駒郡斑鳩町
84	史跡	三井瓦窯跡	昭和07.04.25	生駒郡斑鳩町
85	特別史跡	山田寺跡	大正10.03.03	桜井市山田
86	史跡	市尾墓山古墳・宮塚古墳	昭和56.03.31	高市郡高取町
87	名勝	慈光院庭園	昭和09.12.28	大和郡山市小泉町
88	史跡	珠城山古墳	昭和53.02.08	桜井市穴師
89	史跡	酒船石遺跡	昭和02.04.08	高市郡明日香村
90	特別天然記念物	春日山原始林	大正13.12.09	奈良市春日野町
91	史跡	春日山石窟仏	大正13.12.09	奈良市高畑町
92	天然記念物	春日神社境内ナギ樹林	大正12.03.07	奈良市春日野町
93	史跡	春日大社境内	昭和60.03.18	奈良市春日野町
94	史跡	菖蒲池古墳	昭和02.04.08	橿原市五条野町
95	史跡	植山古墳	平成14.03.19	橿原市五条野町
96	史跡	新沢千塚古墳群	昭和51.03.31	橿原市鳥屋町・北越智町・川西町
97	史跡	水尾古墳	昭和36.07.06	御所市古瀬

出典) 文化庁HPより

表 2.6 (3) 大和川流域の史跡・天然記念物

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
98	史跡	正長元年柳生徳政碑	昭和58.05.19	奈良市柳生町
99	史跡	西山古墳	昭和02.04.08	天理市袖之内町・勾田町
100	史跡	西大寺境内	昭和40.06.04	奈良市西大寺町
101	特別史跡	石舞台古墳	昭和10.12.24	高市郡明日香村
102	史跡	赤土山古墳	平成04.12.15	天理市櫛本町
103	史跡	川原寺跡	大正10.03.03	高市郡明日香村
104	特別史跡	巢山古墳	昭和02.04.08	北葛城郡広陵町
105	史跡	大安寺旧境内附石橋瓦窯跡	大正10.03.03	奈良市大安寺・東九条町
106	史跡	大官大寺跡	大正10.03.03	高市郡明日香村
107	史跡	大神神社境内	昭和60.03.18	桜井市大字三輪・大字三輪元馬場方
108	史跡	大塚山古墳群 大塚山古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
109	史跡	大塚山古墳群 城山古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
110	史跡	大塚山古墳群 高山塚一号古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
111	史跡	大塚山古墳群 高山塚二号古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
112	史跡	大塚山古墳群 高山塚二号古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
113	史跡	大塚山古墳群 高山塚三号古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
114	史跡	大塚山古墳群 高山塚四号古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
115	史跡	大塚山古墳群 九僧塚古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
116	史跡	大塚山古墳群 丸山古墳	昭和31.12.28	北葛城郡河合町
117	名勝	大和三山 香具山	平成17.07.14	橿原市
118	名勝	大和三山 畝傍山	平成17.07.14	橿原市
119	名勝	大和三山 耳成山	平成17.07.14	橿原市
120	天然記念物	知足院ナラノヤエザクラ	大正12.03.07	奈良市雑司町
121	史跡	地獄谷石窟仏	大正13.12.09	奈良市高畑町
122	史跡	中宮寺跡	平成02.05.19	生駒郡斑鳩町
123	史跡	中尾山古墳	昭和02.04.08	高市郡明日香村
124	史跡	定林寺跡	昭和41.02.25	高市郡明日香村
125	史跡	天王山古墳	昭和29.12.25	桜井市倉橋
126	史跡	伝飛鳥板蓋宮跡	昭和47.04.10	高市郡明日香村
127	史跡	唐古・鍵遺跡	平成11.01.27	磯城郡田原本町
128	史跡	唐招提寺旧境内	昭和42.12.05	奈良市五条町・尼辻町
129	史跡	島の山古墳	平成14.09.20	磯城郡川西町
130	史跡	東大寺旧境内	昭和07.07.23	奈良市手貝町・雑司町
131	史跡	東大寺東南院旧境内	昭和09.03.13	奈良市雑司町
132	名勝	当麻寺中之坊庭園	昭和09.05.01	北葛城郡當麻町
133	史跡	藤ノ木古墳	平成03.11.16	生駒郡斑鳩町
134	特別史跡	藤原宮跡	昭和21.11.21	橿原市高殿町・醍醐町など
135	史跡	藤原京朱雀大路跡	昭和53.10.04	橿原市別所町・上飛驒町
136	史跡	頭塔	大正11.03.08	奈良市高畑町
137	名勝	奈良公園	大正11.03.08	奈良市登大路町・高畑町など
138	史跡	二塚古墳	昭和53.12.27	北葛城郡新庄町
139	史跡	尼寺麩寺跡	平成14.03.19	香芝市尼寺
140	史跡	飛鳥稲淵宮殿跡	昭和54.03.20	高市郡明日香村
141	史跡	飛鳥跡苑池	平成15.08.27	奈良県高市郡明日香村
142	史跡	飛鳥寺跡	昭和41.04.21	高市郡明日香村
143	史跡	飛鳥水落遺跡	昭和51.02.20	高市郡明日香村
144	史跡	飛鳥池工房遺跡	平成13.08.13	高市郡明日香村
145	史跡	瓢箪山古墳	昭和46.05.27	奈良市佐紀町
146	特別史跡	文殊院西古墳	大正12.03.07	桜井市阿部
147	特別史跡	平城宮跡	大正11.10.12	奈良市佐紀町・北新町・法華寺町
148	特別史跡	平城京左京三条二坊宮跡庭園	昭和53.10.27	奈良市三条大路一丁目
149	史跡	平城京朱雀大路跡	昭和59.05.07	奈良市二条大路南・三条大路
150	史跡	平野塚穴山古墳	昭和48.06.18	北葛城郡香芝町

出典) 文化庁HPより

表 2.6 (4) 大和川流域の史跡・天然記念物

No.	種別	名称	指定年月日	所在地
151	史跡	法華寺旧境内 法華寺境内	平成13.01.29	奈良市法華寺町
152	史跡	法華寺旧境内 阿弥陀浄土院跡	平成13.01.29	奈良市法華寺町
153	名勝	法華寺庭園	平成13.01.29	奈良市法華寺町
154	史跡	法起寺境内	平成5.11.30	生駒郡斑鳩町
155	史跡	法隆寺旧境内	昭和26.06.09	生駒郡斑鳩町
156	史跡	北山十八間戸	大正10.03.03	奈良市川上町
157	史跡	牧野古墳	昭和32.06.19	北葛城郡広陵町
158	特別史跡	本薬師寺跡	大正10.03.03	橿原市城殿町
159	史跡	薬師寺旧境内	平成09.04.03	奈良市西ノ京町
160	天然記念物	与喜山暖帯林	昭和32.12.18	桜井市初瀬
161	史跡	檜隈寺跡	平成15.03.25	奈良県高市郡明日香村
162	史跡	纏向古墳群	平成18.01.26	桜井市
163	史跡	艸墓古墳	昭和49.06.18	桜井市谷

出典) 文化庁HPより



※史跡・天然記念物のうち特別天然記念物と天然記念物と特別史跡を図に示した。

流域の文化財

種別	数
特別天然記念物	1
天然記念物	4
特別史跡	10
名勝	10
史跡	138

図 2.5 特別天然記念物・天然記念物・特別史跡

④④ キトラ古墳

昭和58年に壁画が発見されたキトラ古墳は1983年に壁画が発見され、その後の調査により星宿図や四神の精緻な壁画が確認されるなど、学術上極めて価値の高い文化財である。



出典) 明日香村役場

⑦⑨ 高松塚古墳

高松塚古墳の石室内部には極彩色の壁画四面あり、彩色壁画を持つ古墳としては近畿地方唯一である。さらに、この壁画は大陸にしかみられない独特のもので、きわめて重要であり国宝に指定されている。



⑧⑤ 山田寺跡

大化改新時の右大臣蘇我倉山田石川麻呂により643年に建立されたと伝えられる。伽藍配置は四天王寺式で、国の特別史跡として整備されている。現在、奈良の興福寺宝物館に収納されている「仏頭」は、この寺にあった丈六薬師仏である。



出典) 桜井市役所 HP

⑨① 春日山原始林

春日大社の神山として伐採が禁じられた為、珍しい動物が多数生息し、カンヤシイなどの常緑広葉樹林の原始林である。昭和30年に特別天然記念物に指定され、平成10年には「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録された。



出典) 奈良市役所 HP

⑩① 石舞台古墳

30数個の巨石を積み上げて作られており、全長約19m、高さ約7m、重さ75tを超えると推定される日本最大の横穴式石塞である。



⑩④ 巢山古墳

巢山古墳は、大王の墓域が佐紀から河内へ移動する時期に築かれた前方後円墳で、周濠内に島状遺構を設け、水鳥形埴輪を配している。前方部には島状遺構の祭祀が設けられている。



出典) 広陵町役場 HP

⑫知足院ナラノヤエザクラ

「いにしへの奈良の都の八重桜 けふ九重に にほひぬるか  
な」(伊勢大輔)と古歌にも詠まれた八重桜。4月下旬から5  
月上旬にかけて白色ないし淡紅白色の花を咲かせる。大正 12  
年、国の天然記念物に指定された。



出典) 奈良市役所 HP

⑬藤原宮跡

藤原京は、平城京の直前、持統・文武・元明の 3 代の天皇 16  
年間にわたって都となったところで、中国の都の長安をモデル  
にしている。



出典) 橿原市役所 HP

⑭文殊院西古墳

横穴式石室を持つ古墳の中で、最も整美された切石の石室を持  
つ。阿倍氏の中で、大化改新後に初めて左大臣にのぼり、5年  
後に死去した阿倍倉梯麻呂の墓説が有力。



出典) 桜井市役所 HP

⑮平城宮跡

平城京は和銅三年(710)元明天皇によって飛鳥藤原宮から移  
され7代74年間の都であった。唐の都にならって造られたと  
いわれ、大路を基盤の目のように整然と配し、中央北部に南面  
していた。



⑯平城京左京三条二坊宮跡庭園

国の特別史跡に指定されている庭園。平城京左京三条二坊宮庭  
園跡は奈良時代の原形をとどめた貴重な遺構である。



出典) 奈良市役所 HP

⑰本薬師寺跡

現在、西の京にある薬師寺の前身にあたる寺。前庭にあたる跡  
地には金堂の礎石や東西両塔の上壇、塔の心礎などが残されて  
いる。藤原宮が完成したのと同じ時代に建設されたので、藤原  
薬師寺とも呼ばれている。



出典) 橿原市役所 HP

## 2.4 イベント・観光

大和川流域では、数多くのイベントが年間を通じて開催されている。特に大和川と関連の強いイベントを挙げると以下のものがある。有名なものとして『川辺八幡神社の例祭』や『住吉祭り』『大和さくらい万葉まつり』がある。『川辺八幡神社の例祭』は、毎年9月の第2週の土・日曜日に行われ、宵宮では神輿が大和川に入って「みそぎの神事」が行われ、河原では花火大会が行われる。『住吉祭り』は、毎年7月30日～8月1日に行われ、大和橋の上で神輿を受け渡す「神輿受け渡し式の神事」や46年ぶりに復活した神輿を担いで大和川を渡る「お渡し」などが盛大に行われる。『大和さくらい万葉まつり』は遣隋使の帰国の地であり、日本で初めて市が開かれたところである初瀬川金屋で現代版「海石榴市」や「歌垣火送り」などが行われる。

表 2.7 主なイベント・祭り

府県	市町村名	時期	場所	名称	内容
大阪府	大阪市	毎年9月の第2週の土曜と日曜	川辺地区河川敷	川辺八幡神社例祭	神輿、みそぎの神事、花火大会
	堺市・大阪市	毎年7月30日～8月1日	住吉区河川敷	住吉祭り	神輿、渡御祭、夏越祓神事、火の輪くぐり
	富田林市	8月25日（平成19年実施）	石川「伏見堂大橋」	アユすくいどり大会	アユすくいどり（河内長野共催）
		10月8日（平成19年実施）	石川河川敷西板持	スカイクロスで遊ぼう	スカイクロス
		毎年11月23日	石川河川敷	市民ふれあい祭り	特産品バザー、神輿、舞台
	羽曳野市	10月7日（平成19年実施）	石川スポーツ公園	市民体育祭	リレー、綱引き、出店
	柏原市	9月30日（平成19年実施）	大和川河川敷緑地公園	市民郷土まつり	河内首領盆踊り、その他
		毎年5月6日まで	大和川水管橋	こいのぼりまつり	こいのぼり
3月9日（平成20年実施）		大和川河川敷等	市民健康マラソン	マラソン	
奈良県	奈良市	毎月20日（平成20年実施）	奈良周辺	20ならウォーク	奈良周辺の散策
	大和高田市	3月下旬～4月上旬（平成20年実施）	高田川河岸	高田千本桜	花見
	桜井市	9月8日（平成19年開催）	初瀬川金屋河川敷公園	大和さくらい万葉まつり	現代版「海石榴市」（地場産業などの出店）、「歌垣火送り」（灯籠流し）など
	三郷町	6月30日（平成19年実施）	大和川河川堤防等	勢野の社寺とほたるを探して	ウォーキング
		毎年4月3日	龍田大社	滝祭	神事
	王寺町	毎年1月15日	葛下川沿い	大とんど	とんど
		9月23日（平成19年実施）	大和川河川敷等	王寺バルフェスタ2007	リレーマラソン、ふれあいウォーターライド、その他
斑鳩町	毎年11月22日～11月30日	県立竜田公園	紅葉祭り	フリーマーケット・俳句会	



写真 2.1 川辺八幡神社の例祭



写真 2.2 住吉大社 神輿渡御祭



写真 2.3 大和さくらい万葉まつり  
現代版「海石榴市」



## 2.5 自然公園の指定状況

大和川流域の国定公園としては大阪府と奈良県にまたがる「金剛・生駒・紀泉国定公園」、奈良盆地の東に位置する「大和青垣国定公園」の2箇所が指定されている。県立公園としては「県立矢田自然公園」が指定されている。

表 2.8 流域内の公園概要

	公園名	面積 (ha)	指定年月日	公園の特色
①	金剛・生駒・紀泉国定公園	23,120	昭和33年4月10日	ブナの原生林や、葛城神社など、多くの史跡や文化財を有する
②	大和青垣国定公園	5,740	昭和45年12月28日	山辺の道と柳生街道を中心に歴史的な史跡が多く、文化的景観を加味した公園
③	県立矢田自然公園	520	昭和42年3月7日	都心と近接する位置にある為、住民にとって身近な自然環境空間として貴重な公園

奈良県ホームページより (<http://www.pref.nara.jp/>)

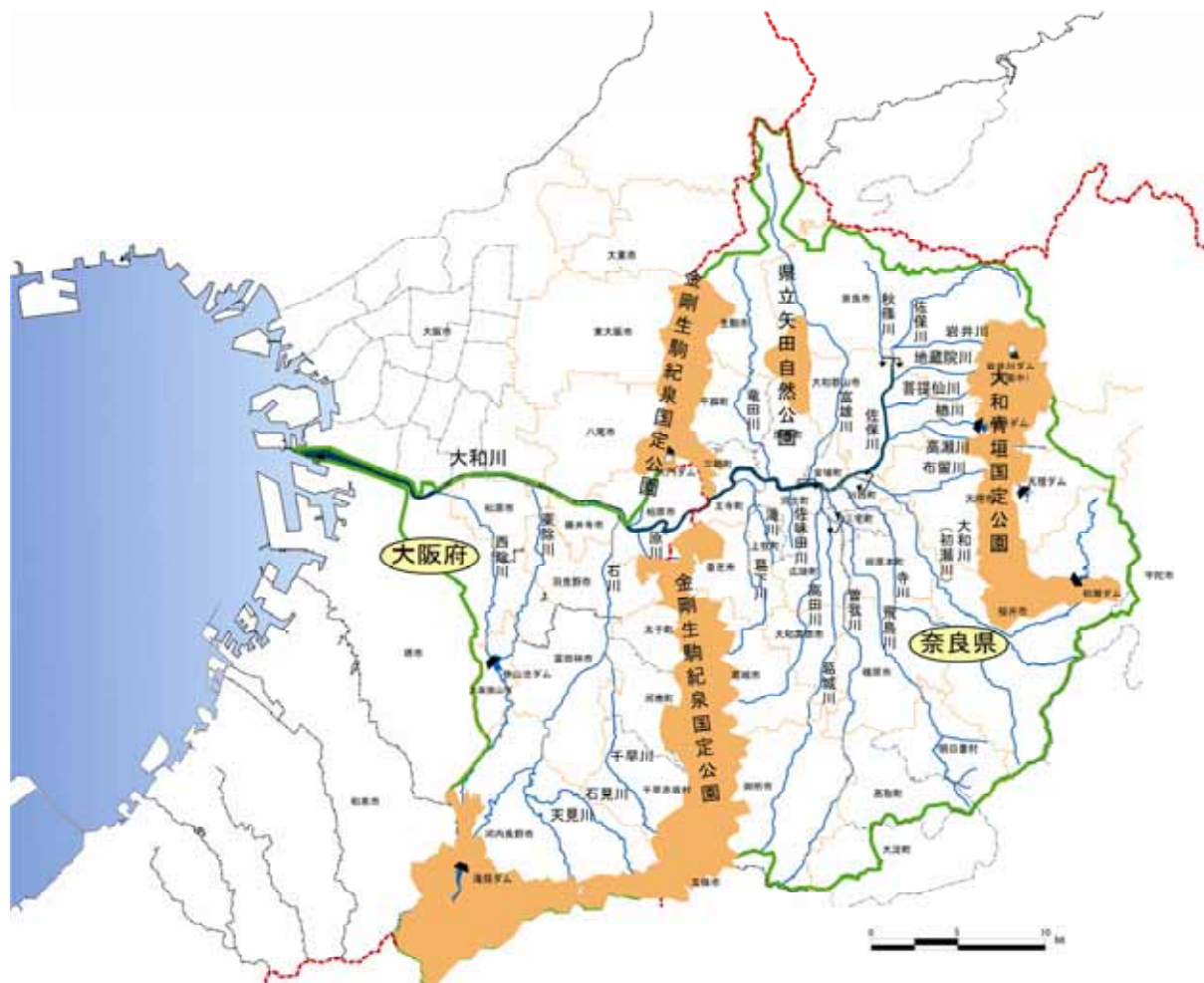


図 2.6 流域の自然公園